

『広島を訪ねて』

～広島平和記念館への訪問についての詩～

私たちは、世界初の原子墓で、
何を感じるだろうか

私たちは、核の破片で幹が傷つけられた樹木の葉を、
どのように受け止めるべきだろうか

私たちは、砕け散ったガラスの上を力強く這う草に、
何を思うべきだろうか

希望と恐怖の表象である広島は、
近寄る人々に何を語るだろうか

人生を大切に、平和を願って、でしょうか
記念品を買い、今の風を楽しんで、でしょうか
写真を撮って、お土産を買って、でしょうか

全てが消え去る前に、その時に気づき、矛盾を実感する
それは、いつもここに存在します

玲亜： どの思想も広島とは一致しません。理屈はもうどうでもいいです。

ティム： 広島と長崎が核の狂気の終章になることを祈りましょう。

ティン： (笑い) 私は、人間が知性を十分に持っているかどうかを疑ってます。
我々は、暴力なしで紛争を解決することを学ぶ必要があります。

悟： (思慮深くあごをこすりながら) 私は楽観的でありたいねえー。必然
性があれば、私達は多くの事を学ぶことができるのは、驚きです。

- T Newfields (和訳: 吉田典子)

開始: 1996 年 静岡市 ♪ 完成: 2012 年 東京市

